

令和5年度
兵庫県立都市公園
指定管理者公募公園の概要

令和5年6月
兵庫県広域防災センター
兵庫県北播磨県民局加東土木事務所
兵庫県まちづくり部公園緑地課

三木総合防災公園

広域防災拠点（全県拠点）

スポーツ拠点

観光交流拠点

- 公園種別 広域公園
- 開園面積 202.2ha
- 概要

三木総合防災公園は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、兵庫県の人口重心に位置し、全県域の防災拠点となる広域公園。災害時は、隣接する広域防災センターと一体的に県全体をカバーする広域防災拠点となる。管理運営面でも、非常時に備え、公園の職員が防災センター職員を兼務しており、指揮系統の統一、迅速な用途転換を可能にしている。

これまで県内の災害はもとより、東日本大震災をはじめ、国内外の大規模災害発生時に備蓄物資の供出を行っている。

平時は、世界最大規模の屋内テニスセンター

であるビーンズドームや第1種 公認陸上競技場など、県民のスポーツ・レクリエーションの拠点として、国際レベル・全国レベルのスポーツ大会が開催されている。

■ 主な経緯

平成 17 年 8 月 6 日 当初開園（36.9ha）：野球場 等
（以降、順次開園）

平成 22 年 5 月 23 日 追加開園（直近）（202.4ha）：自然体験の森ゾーン 等

平成 29 年 1 月 27 日 一部除外（202.2ha）：淡河幹線揚水機場部除外

■ 主な施設

屋内テニス場、球技場、陸上競技場、第2陸上競技場、野球場、屋外テニスコート、グラウンドゴルフ場、中央芝生広場、西芝生広場、桜の広場、遊戯広場、展望広場、駐車場



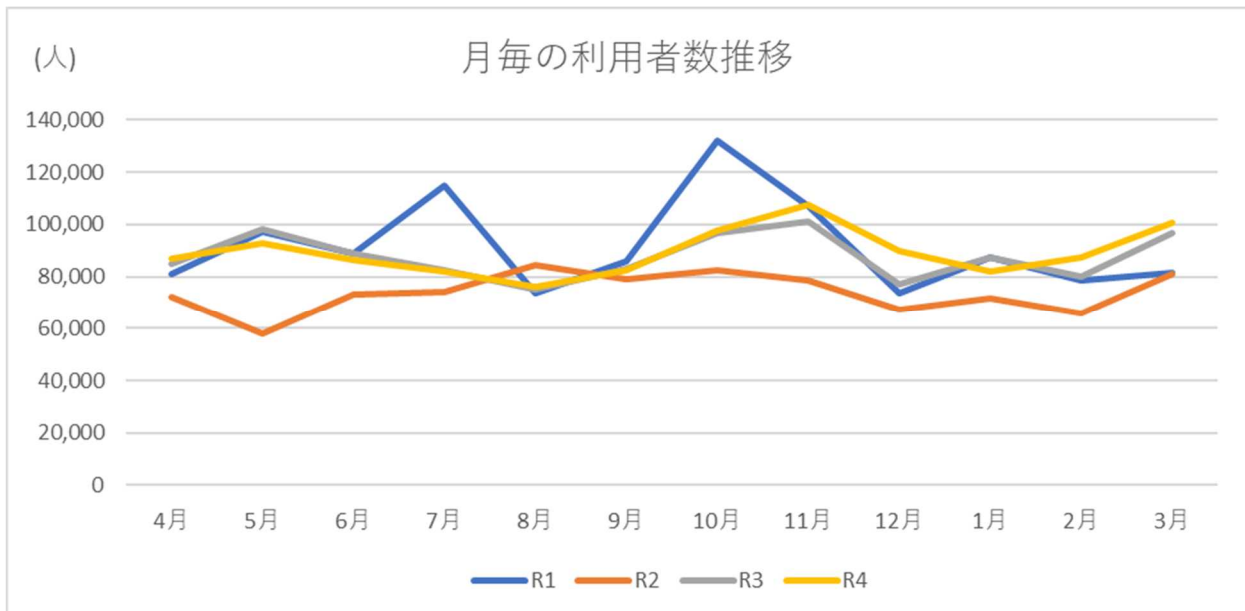
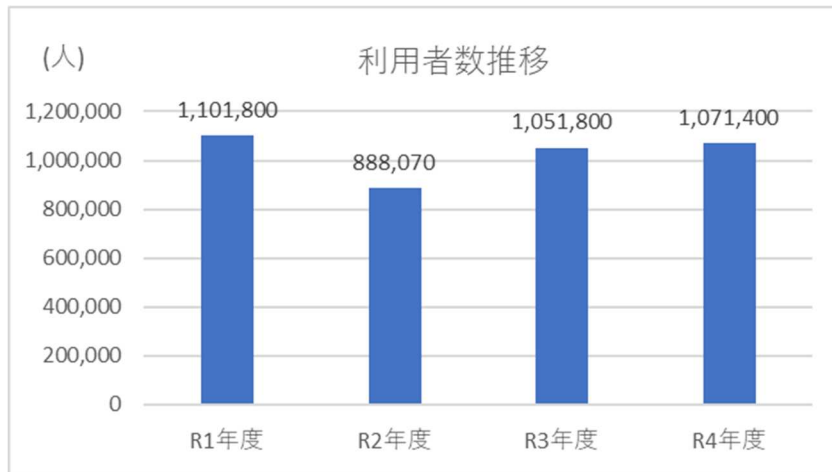
救援物資仕分け（東日本大震災）



備蓄物資



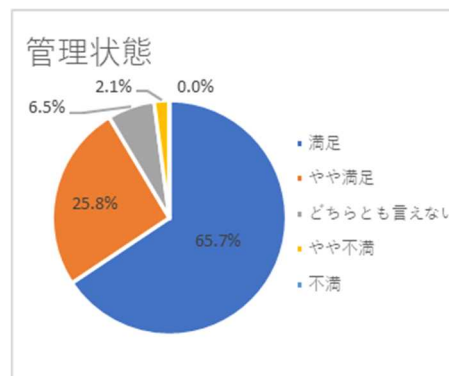
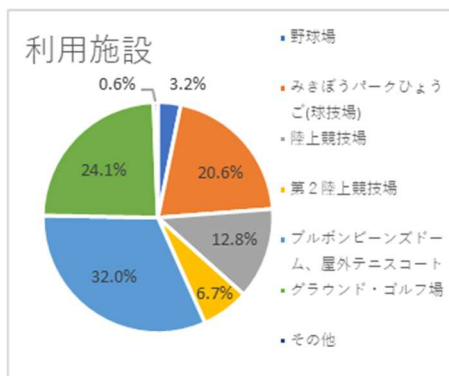
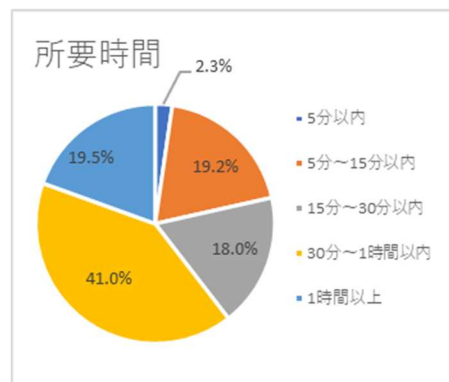
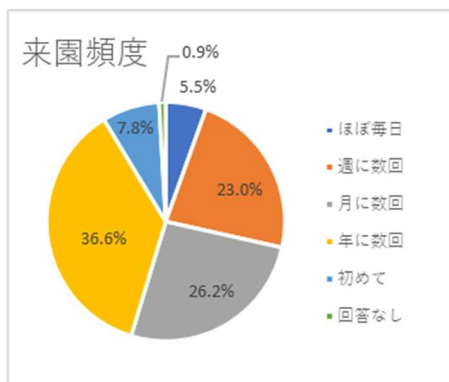
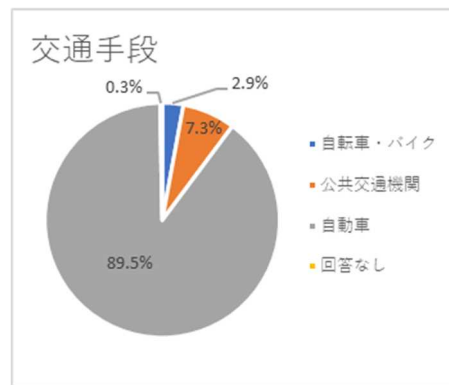
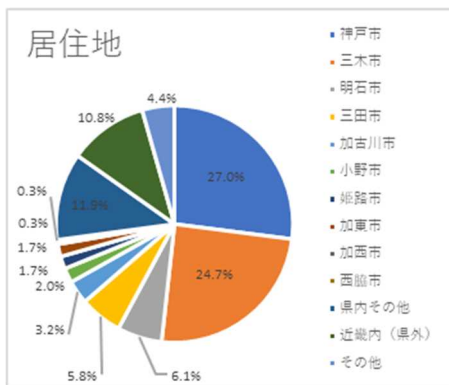
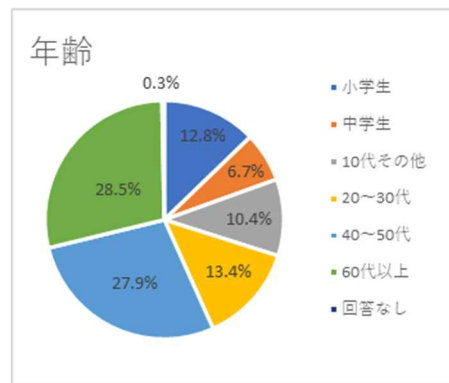
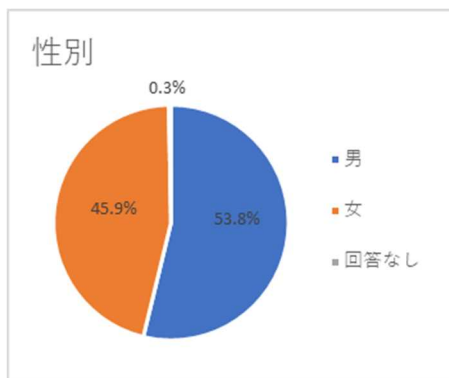
(1) 公園利用者の推移 (R1～R4年度)



令和元年7月と10月に公園利用者数が増えている要因は、「みつきい夏祭り」「ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバル in 北播磨」が開催されていたことが挙げられる。

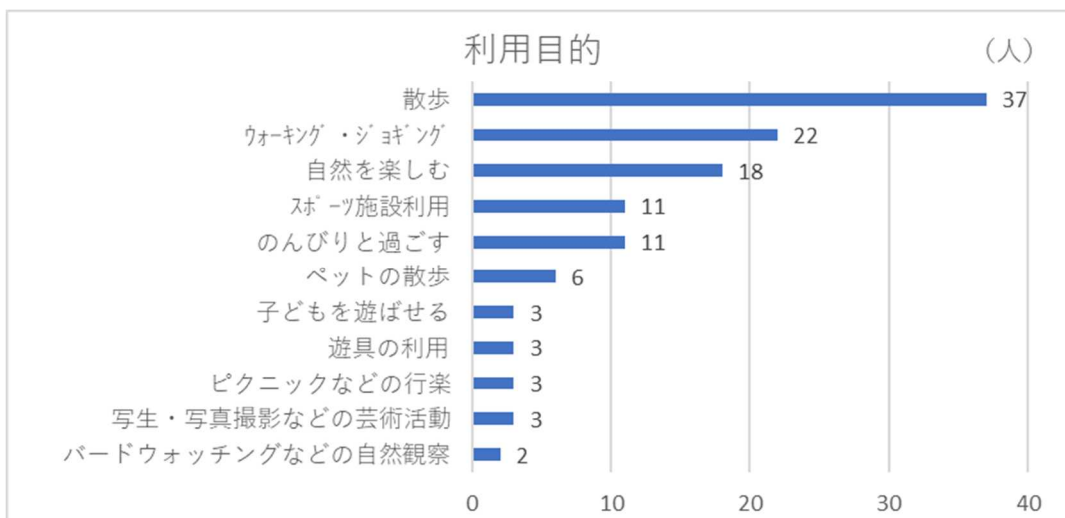
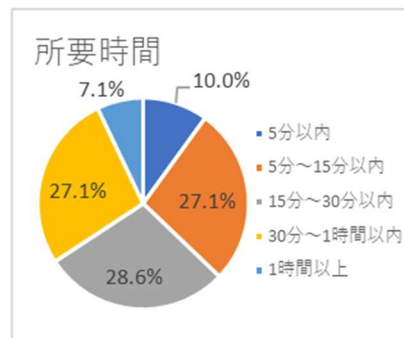
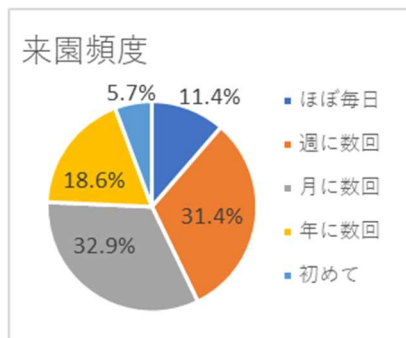
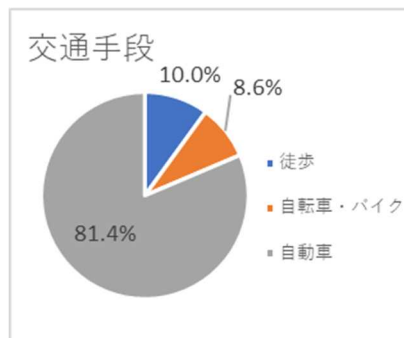
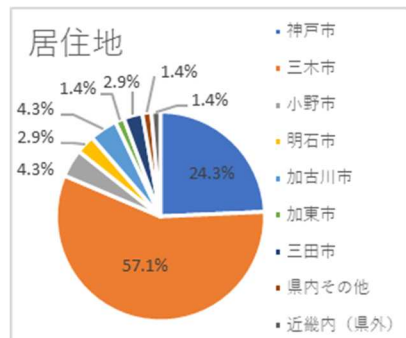
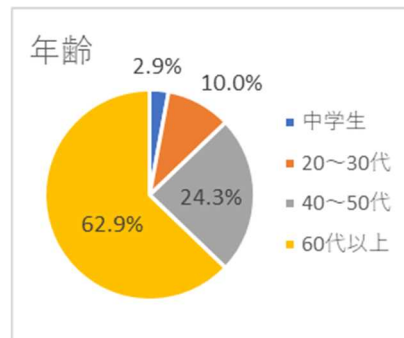
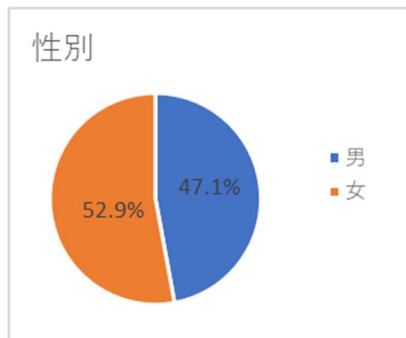
また、直近3年みつきい夏祭りは、新型コロナウイルスの影響で開催されてなかったが、今年度は開催される見込みであるため、利用者増が見込まれる。

(2) スポーツ施設利用者特性（令和4年度利用者満足度調査結果より、回答数344件）



(3) 公園利用者特性（令和4年度利用者満足度調査結果より、回答数70件）

※公園利用者は、スポーツ施設利用者も含む。



(4) 利用者傾向

【スポーツ施設利用者特性】

- ・スポーツ施設の利用者の男女比で見ると、若干男性が多くなる傾向がある。
- ・居住地は神戸市と三木市が約 5 割、移動所要時間が 30 分から 1 時間以内である県内の人が約 4 割を占めており、近隣からの利用が多い傾向にある。
- ・交通手段は約 9 割が自家用車である。
- ・来園頻度は月数回の人約 3 割、年数回の人約 4 割である。

【公園利用者特性】

- ・スポーツ施設以外の公園利用者の男女比はほぼ同数であるが、スポーツ施設利用者と比較して若干、女性が多くなる傾向がある。
- ・居住地は三木市が約 6 割を占めており、移動所要時間が 30 分以内の人が 7 割近くを占めている。
- ・利用者の交通手段は 8 割が自家用車である。
- ・来園頻度は、「ほぼ毎日」、「週数回」の人が約 4 割を占めている。
- ・一定数近隣住民による日常的な公園利用がされている状況である。
- ・利用目的は散歩が最多であり、ウィーキング・ジョギング、自然を楽しむなどが見られる。